51

英語ほど世界中で広く使われている言語はない。

【時制と文構造】

「...ほど~なものはない」の構文を使う。できれば全パターンで書く練習をしてみよう。

【表現研究】

● 英語が (より) 広く使われている

① English is $\begin{bmatrix} \text{more widely } (\bigcirc) \\ \text{wider} \\ (\times) \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \text{used} \\ \text{spoken } (\bigcirc) \end{bmatrix}$	
② English is $ \begin{bmatrix} used & (\bigcirc) \\ spoken (\bigcirc) \end{bmatrix} \begin{bmatrix} more widely & (\bigcirc) \\ more broadly & (\times) & fx # Helping \\ more often & (\times) & fx # Melping \\ in more areas & (\bigcirc) \end{bmatrix} $	
③ English is	

「広く」はwidelyが最適。broadlyは「大雑把に」の意味なので不可。often は頻度・回数に言及する語なので不適切。「使われている」はusedかspoken が適切。なお、widelyと組み合わせた場合、①be (more) widely used という語順でも②be used (more) widely でも可。③のpopularは選択権があることしか使えない。

ex. 'Sato' is the most **common** family name in Japan. (\bigcirc)

'Sato' is the most **popular** family name in Japan. (\times)

「佐藤は日本では最もありふれた苗字です」

苗字は自分で選ぶことはできない。選択権がない。よって、popularは使えない。言語(母国語)も自分では選べないのでpopularは不可。

ex. English is often used as a **common** language. (○)

English is often used as a **popular** language. (\times)

「英語は共通語として使われている場合が多い」

● ~ほど広く使われている言語はない (⇒p.62 / 『文法矯正編』p.284、287)

① No other language is (\bigcirc) $\Big[$ spoken as widely (\bigcirc) $\Big]$ as \sim There is no other language (\bigcirc) $\Big]$ as widely spoken (\bigcirc)		
$ \begin{tabular}{lllllllllllllllllllllllllllllllllll$		
$3 \sim $ is as widely used as any other language (0)		
 ④ ~is more widely used than any other language (○) ⑤ ~is the most widely used language in the world (○) 		

①~④を使う場合、otherの次の語は単数形にする。英語の比較構文は〈1対 1対応〉が基本だからである。「英語」と「日本語」を比べて、流通性では「英語」の勝ち。次に「英語」と「ドイツ語」を比べて「英語」の勝ち。「英語」と「中国語」を比べて、人数では「中国語」が勝るが流通性では「英語」の勝ち。よって最終的に「英語」が優勝、というように、トーナメント戦方式で勝敗を決めていく感じである。⑤の最上級を使う際には〈全体集合〉を明示する必要があるのでin the world は不可欠の要素である(\Rightarrow p.62、124/『文法矯正編』p.284)。

● 世界中で

① in the world	(○) ☞ 比較構文 or there is構文と使う
② all over the world	(△) ☞「世界各地で、世界の至る所で」
$\ensuremath{\Im}$ throughout the world	(△) ☞「世界各地で、世界の至る所で」
④ around the world	(△) ☞「世界各地で、世界の至る所で」

①in the world は比較構文かthere is構文で使うのが原則である。一方、 ②③④は「世界各地で、世界の至る所で」が原義なので、本間ではwidelyと重複する。次の文のようにwidelyがなければ可。

ex. English is spoken **all over the world**. (○)

英訳例

- (A) No other language in the world is more widely spoken than English.
- (B) English is more widely used in the world than any other language.